

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C	令和8年2月24日	
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進						
地域重点政策	諏訪湖創生ビジョンの推進					諏訪地域振興局	
実施機関	諏訪農業農村支援センター			担当課	所属	農業振興係	
事業名	浮漁礁設置に係る生物調査				電話	0266-57-2913(内線2363)	
					E-mail	suwa-nosei@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	令和5年度に設置した浮漁礁の効果を確認するため、魚介類の生息状況を確認する。					
	現状と課題	諏訪湖に生息する魚介類について、生息しやすい環境の修復を図るため、令和6年1月に諏訪湖内に浮漁礁を設置したが、効果については、設置前(R6. 1以前)から設置後(2年程度)にかけて状況を確認する必要がある。 そのため、令和7年度においても引き続き浮漁礁の効果を検証する必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	浮漁礁の設置場所において、魚介類の生息状況を確認するための調査を実施する。 (1)場所:諏訪市豊田地先(六斗川河口付近) (2)協力予定者:諏訪湖漁業協同組合、水産試験場諏訪支場 (3)調査方法 ・投網及びエビかごによる漁を毎月1回(5月～11月)行い、生息している魚種、数量を調査					
	事業期間	令和7年5月 ～ 令和7年11月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等		実施内容		実績額	備考	
	生物調査		捕獲作業委託		115,500	@16,500円×7回	
合 計				115,500			
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	生息確認魚介類の種類数(外来魚を除く)			4種以上	7種類	● 達成	
						○ 一部達成	
						○ 未達成	
事業実績・成果	令和6年1月に設置した人工浮漁礁及び大石の配架(投下)の効果を確認するため、設置前及び設置後の魚介類の生息状況を5月から11月にかけて月1回、投網漁及びエビかごによる方法で確認した。 5月から調査を実施した結果、タモロコ、モツゴ、ジュズカケハゼ、ヌマチチブ、ウキゴリ、テナガエビに加えスジエビなどの生息が確認された。 さらに、生息する魚介類の種類や数の増加に伴い、これらの魚種を捕食する外来魚「ブルーギル」も多く確認され、多数の生成生物の住処となっていることから、浮漁礁及び大石の配架の効果が認められる結果となった。						
今後の方向性	人工浮漁礁の設置により認められた成果・効果について、今後に活かしていけるよう諏訪湖漁協等の関係機関・団体へ情報提供を行う。						